

獺さん好評。共同通信の配信も決定！

(10/10頃)

4人のブックウォッチャー 絶対読んで得する8冊

150年目の科学誌「NATURE」には何が書かれていたのか

つじやま・よしお ● 1972年兵庫県生まれ。京都の新聞書店「Title」店主。新聞や雑誌などの書評やエッセイ、ブックセレクションなど。最新刊の「こぼるる」の生み出した書評（ナノク社）が発表中。夏の読書はもうこりこりです。

辻山良雄

『すごい詩人の物語 山之口獺詩文集 人生をたどるアンソロジー』
山之口 獺
立案舎 1800円（税別）

けっして「ばあ」ではない

山之口獺という詩人をご存じだろうか。自身の貧乏をユーモラスなことばで笑い飛ばす。故郷の沖縄と日本を分かつ原因となった戦争には、一切容赦しなかった詩人。その生涯ではほぼ1冊の詩集に収まる数の作品しか残さず、たった一篇の詩をつくるのに「一〇〇枚二〇〇枚三〇〇枚」と原稿用紙を削いだ推察の鬼……。この本はそんな詩人の代表作をテーマごとに5章に分け、詩集や小説に掲載したアンソロジー、娘である山之口泉や音楽家の高田謙、沖縄で「市場の古本屋ウララ」を経営する手塚哲子の寄稿など、人間・山之口獺への理解も深まる。多面的な内容となっている。

山之口獺の詩に現れている自由的な態度は、人を笑わねばならぬにあって人から笑われているようなものではなかった。軽い気持ちで読んでいたら、出会いの一瞬に冷や水を浴びせられたような、読者の自分がためされるかなわない詩人である。

詩・沖崎

（是とも及ばない度）
★★★★★

135篇を5章に分けて

山之口獺

『すごい詩人の物語』は、山之口獺の詩集「人生をたどるアンソロジー」の詩135篇を収めたアンソロジー。代表作「真の結」の「豊」が

沖縄タイムス(8/31掲載)

沖縄タイムス(8/31掲載)

南日本新聞(8/25掲載)

山之口獺詩文集
『すごい詩人の物語』
近現代を代表する沖縄生まれの詩人・山之口獺（1903～1963年）の詩135篇を収めたアンソロジー。代表作「真の結」の「豊」が

増補、改訂したもので実質1冊分。独特のしなやかな言葉で故郷に思いをはせ、戦争を痛烈に批評した。フォーク歌手・高田謙が詩の多くを歌った。78年創設の山之口獺賞は奄美出身の詩人も多く受賞している。（立案舎・1944年）

立案舎の完全オリジナル編集

これまでの獺詩集を読み尽したファンも、「まったく違った新鮮な感じ」と評価

すごい詩人の物語
山之口獺詩文集
人生をたどるアンソロジー

山之口獺（1903～1963）。近代・現代を代表する沖縄生まれの詩人。人は、歌い手、貧乏詩人、最前線詩人、平和詩人、そして、精神の貴族……と噂んだ。

立案舎

すごい詩人の物語

山之口獺詩文集
人生をたどるアンソロジー

1800円＋税 A5判並製／288ページ
ISBN978-4-909917-00-3

収録作品	
【詩論】	詩とはなにか
【詩篇一三五篇】	
第一章	住所不定
第二章	結婚と暮らし
第三章	故郷沖縄
第四章	戦争風刺
第五章	歌になった詩
【小説三篇】	
「詩人便所を洗う」	
「詩人の結婚」	
「詩人の一家」	

低正味の注文出荷制／スピード納品のトランスビューが決済代行。新規手続きは不要です。

直取引代行
トランスビュー

立案舎の刊行物は、トランスビューの取り扱いで納品いたします。直接取引の条件は、トランスビューの刊行物とすべて同じです（随時返品可※送料元払い）。

◎取次ルートの場合は買い切り・返品不可となります。

◎トランスビューとお取り引きのない書店様からのご注文は小社よりご連絡いたします。

貴店名	すごい詩人の物語 山之口獺詩文集
ご担当	冊